

アクションプラン（赤塚探検隊）
 協力者向けアンケートまとめ

参考資料 1－3

【イベントをより良くするという視点で】

環境政策課		プラネットコンサルティングネットワーク
質問① イベントを実施して良かった点はなんですか？		
行政情報を区民に還元できたことがよかった。	資料作成にあたり、トンボ池の歴史や自然をいたばし水と緑の会の方に教えていただき、今までに知らなかった魅力を発見したこと。また、参加した子どもたちや大人の方もが楽しそうに話を聞いてくれたことがうれしかった。	赤塚地区に焦点を絞ったため、「地域」をテーマにできて、湧水を切り口に出来たわかりやすいイベントだったと思う。ただ、盛りだくさん過ぎた感がある。初めてのイベントだったと思うので、熟度も足りなかったと思うが、環境政策課の内容は、「力作」だと思った。
質問② イベントを開催するうえで、苦勞した点・課題はなんですか？		
対象年齢が幅広いことと今回に限り推進会議の委員の皆さまがいらしてどのように対応するかが難しかった。私自身も、行程を考えるなかで、赤塚の魅力を再発見したような気がする。 みどりと公園課に準備から片付けまでお手伝いしていただいた。みどりと公園課の熱意で今回の事業は出来たものと確信している。	子ども向けのイベントのため、わかりやすい資料を作成するのに苦勞した。また、説明する言葉についても工夫が必要だと感じた。	苦勞した点は特にない。強いて挙げるなら、スケジュール調整。 また、我々が「無知」だったことも課題と考えている。板橋区についての知識不足、武蔵野崖線とそこに立地する自然に関する知識・理解不足、赤塚地区の歴史や現状に対する知識不足、緑の基本計画に関する知識・理解不足等、全てについて無知だった。腰を据えて、5年、10年と取り組みたいと考えている。
質問③ 上記②を解決するために、区でできることはありますか？それはなんですか？		
対象年齢を絞ることも1つだと思うし、今回のように幅広い年齢層を対象にすることで、協力し合うことも楽しいと思う。 テーマが「赤塚のよいところを知ってもらおう」という内容にどんな事例がふさわしいのか難しい。今回の湧水、池、池の生き物、野草、野鳥でよかったのか。 赤塚のよいところ編①～湧水～ 赤塚のよいところ編②～歴史～ などとなるのか。	参加者目線で資料の作成や話の構成を考えることが大切だと思う。	短期間で解決できる事では無いので、日頃から意識を高めて取り組む以外には無いと思う。また、実際に知識や理解を得るには、赤塚地区に詳しい方々の教えを得ることが近道で正確だと思う。今回はボランティアの坂本さんの知見に触れることが出来た。いかにも怪しい我々業者が市民と接することはとても難しいため、今回のように区に仲介して頂ける機会があると、可能性は広がると思う。
質問④ より楽しんでいただくための改善等がありましたら教えてください。		
小学校低学年向け～大人～高齢者 いろいろな世代を対象にしたらよいと思う。環境部署だけでなく、高齢者の部署とタイアップして健康増進を図るのもよいかもしれない。	ゆとりのある時間設定にした方がやりやすいと感じた。ウェルカムセンターの展示を見ていただく時間がほとんどなかったので、今回はいろいろと詰め込みすぎたのが原因でもあるが、展示の解説をしたかったと思っている。	地元の方々による解説があると深みは増すと思う。
質問⑤ 今回の運営方法を、今後も継続していくことはできそうですか？		
わからない	わからない	できる
質問⑥ 上記⑤で「できない」と回答された場合、選択した理由をお聞かせください。⇒「できない」と回答した方はいらっしゃいませんでした。		

【地域との連携を図っていくという視点で】

環境政策課		プラネットコンサルティングネットワーク
質問⑦　今回は区で調整しましたが、よりスムーズな調整を行うために必要だと考えることはありますか？		
区で調整するのが一番だと思う。	参加者に何を伝えたいのか、どうしたらわかりやすく説明できるのか、どうしたら参加者が楽しめるか、という視点で話し合いを進めていくことが大切だと思う。	内容が盛りだくさんで、参加した子ども達にとってはかえって印象が薄まったような気がした。もっと要素を減らして、簡単にして、調整事項も減らす必要があると思う。今回のこのイベントを我々業者が受託しても実施は難しい。区の直営での調整だったから出来たが、外部の業者では、もっと簡潔にしないと出来ない。
質問⑧　地域との連携を図ることで得られるメリットはなにか、教えてください。		
住民参加が得られると思う。これにより、町会活動や防災などにも広がっていくことが期待できる。公園ボランティアさんに協力を仰ぐのもよいと思う。	地域の方の方が区の担当よりも地域のことに詳しく、貴重な情報を持っているので、それらをお借りすることにより、内容の濃いものができると思う。	地域を知ることとは知識を得ることではなくて、その地域への愛着と、誇りを抱くことだと思う。赤塚地区への愛着と、誇りの強い方々との交流は、多くの「気づき」をもたらせてくれると思う。
質問⑨　地域との連携を図るために必要だと思うことを教えてください。		
各ボランティア間との調整などは、役所が出ていくことが一番だと思う。	地域の方にご協力いただくために、行政側がどのような形で地域の方に協力ができるのか考え、話し合い、お互い良好な関係を築いていくことが必要だと思う。	赤塚地区への愛着と、誇りの強い方々に馬鹿にされないこと。 そのような方々が、ド素人の我々を見たら落胆する。そんな勉強不足の者に真剣に教えようとは思わないと思う。 きっかけとしての街歩き等の勉強会があると有り難い、あとは企業努力と個人の努力しか無いだろう。